

おりがみペンテコステ -4つのステップ- 【柴田常雄】

先週末の再現晩餐会（第1回目）・100年記念定期演奏会に始まり、今週は下関開学100周年の記念行事が目白押しで、6月7日（土）には記念式典が下関市民会館大ホールで行われます。

そしてちょうど今年は、6月8日（日）が教会の暦ではペンテコステ（五旬節）にあたります。4月20日（日）のイースターから数えて50日目に、重大なある出来事が起こったと新約聖書使徒言行録2章に記載されています。

山口市の光城女学院はケネディー氏から多額の寄付金を受け、長崎市の梅香崎女学校と合併して下関市に下関梅光女学院を開学しました。イエスの弟子たちと、開学を準備した光城女学院・梅香崎女学校の先達のことを考えていて-4つのステップ-のことが胸中に沸いてきました。

- ① 憧れ（イエスとの出会い）
- ② ^{へりくだ}謙り（苦難、十字架、死）
- ③ 希望（復活、イースター）
- ④ 神の介入（恵み、ペンテコステ）

イエスの弟子たちも、光城女学院・梅香崎女学校の先達もイエス・キリストと出会って、その生き方が変えられました。

イエスの十字架上の死（それは私たちの罪を贖うための身代わりの死でしたが）のあと、弟子たちは自身の無力さを味わい知ったのでした。私たちも自分自身がやがて死を迎える存在であることを考えると、徹底して謙遜にさせられるのではないのでしょうか。光城女学院・梅香崎女学校もその当時、現状の限界とそれを打破する必要性を感じていたと思います。

イエスの復活は、私たちが最も恐れている「死」を打ち破る、希望なのです。40日の間復活されたイエスは弟子たちの前に現れ、彼らを励まし、彼らの見守るなか天に上げられました。

天に上げられる時、イエスは弟子たちに「やがて、あなたがたの上に聖霊が下り、あなたがたは力を受け、地の果てに至るまでわたしの証人となる」と約束されました。それがこのペンテコステの日起こったのでした。

【聖霊の火】



梅光学院の基礎、そして梅光学院がその教育を通して学生・生徒・幼児に伝えたい人生の基礎は神のことばである「聖書」です。

聖書には、神様が私たちが造り愛し、私たちは主（神様）を喜ぶために造られたとあります。

【主を賛美する人】



まだ聖書を読まれたことのない方は是非一度手にとってみてください。最近聖書を読まれていない方は再び読み始めてみませんか？希望と神様の祝福が皆様の上にありますように。
God Bless You ! God be with You !